



昭和30.12.15

第5号

目次

関係法令	政令, 規則.....	1
学内規程	工学部規程中一部改正.....	1
	学生守則中一部改正.....	1
	教育学部附属学校長選考基準.....	2
	薬学部規程中一部改正.....	2
	人事異動.....	2
学内通知	卒業, 修了等について.....	5
	転学部, 転学科等について.....	6
	昭和31年度学生募集要項.....	6
	昭和30年度卒業式, 修了式 昭和31年度入学式日程.....	7
	昭和31年度文部省科学研究費等 公募について.....	7
	奨学生関係事務の懇談について.....	8
	昭和31年3月卒業予定学生就職状況.....	8
部局情報	工学部長再選.....	8
	第5回永年勤続職員感謝状贈呈.....	8
	第5回北陸三県大学学生交歓芸術祭.....	9
	第2回中部学生 バドミントン選手権... 第3回中部大学 大会	9
	第4回学部対抗学生競技大会.....	9
	南加大学の思出.....	9
	一かくれた日本文学研究者—	
雑報	南加大学の思出.....	9
日誌	主要日誌.....	10

関係法令

政令

- 政令第211号 国家公務員等退職手当暫定措置法施行令の一部改正 30.8.31官報
- 政令第219号 恩給給与規則の一部改正 30.9.1官報
- 政令第270号 恩給法の一部を改正する法律の一部を改正する法律, 付則第11項の期間を定める政令 30.10.3官報
- 政令第279号 国有財産法施行令の一部を改正する政令 30.10.12官報

規則

- 人事院 8—13 職務の級5級以下の官職への任用候補者名簿による職員の任用に関する特例等 30.8.23官報

人事院 8—14 2箇月以内の任期を限られた職員等の任用に関する特例 30.8.23官報

学内規程

工学部規程中一部改正

(昭和30年9月9日評議会承認)

工学部規程の一部を次のように改正する。

別表中「金属工学科(金属工学専攻)」とあるを「金属工学科」に「金属工学科(機械工学専攻)」とあるを「機械工学科」に改める。

付則を次のように改める。

本規程は昭和30年7月1日から施行する。

但し昭和29年度以前に入学した金属工学科(機械工学専攻)の学生については従前の別表を適用する。

学生守則中一部改正

(昭和30年9月9日評議会にて改正)

学生守則の一部を次のように改正する。

第11条中「(自治会, 研究会, 同好会, 学外団体の支部等)」を削る。

第12条を次のように改める。

第12条 届出事項(団体の名称, 目的, 事業, 組織, 主たる事務所の所在地, 役員, 構成員, 学外団体との関係等)に変更のあつた場合は, 団体変更届〔様式(3)〕を提出しなければならない。

第13条を次のように改める。

第13条 団体は, 毎年5月15日までに団体継続届〔様式(2)を準用する〕を提出しなければならない。届出がないときは解散したものとみなす。

第15条を次のように改める。

第15条 前各項の届出は, 学部長を経て学長に2通提出しなければならない。

但し構成員が2学部以上(一般教育科は文理学部所属とみなす。以下同じ)にわたる場合は学生部長を経て学長に提出するものとする。

第16条を削り「第17条」を「第16条」とし次のように改める。

第16条 学生の集会は, その開催日の少くとも前々日までに集会責任者が集会届〔様式(5)〕により学部長に届出てその承認を得なければならない。但し集会者が2学部以上にわたる場合は, 学生部長を経て学長の承認を受けるものとする。

第16条の次に次の1条を加える。

第17条 学生若しくは学内団体が, 団体事務所又は集会のため本学の施設を使用しようとするときは, 当該施設の管理者に願い出てその許可を得なければならない。

第18条の次に次のように加える。

(印刷物、新聞等)

第19条を次のように改める。

第19条 学生が印刷物、新聞等を刊行又は配布しようとするときは、予めその責任者が学部長に届出てその承認を得なければならない。

但しこれらの行為が2学部以上にわたるときは学生部長を経て学長の承認を受けるものとする。前項の印刷物、新聞等を配布するときは学部長又は学生部長を経て学長に2部提出しなければならない。

第19条の次に次のように加える。

(その他)

第20条 学生の団体及びその行為が本学の機能を害し、又は学内の秩序を乱すおそれがあると認めるときは、これを禁止する。

付則中「昭和29年4月1日」を「昭和30年9月9日」に改める。

教育学部付属学校長選考基準

(昭和30年9月30日評議会承認)

第1条 付属学校長候補者選考は、教授会の議に基き学長が行う。

第2条 前条の選考は、本学部の教授のうちから行うものとする。

第3条 教授会は次の場合付属学校長候補者を選定する。

- 1. 任期満了するとき
- 2. 辞任を申し出たとき
- 3. 欠員となつたとき

第4条 付属学校長候補者の選考は、前条第1号の場合は任期満了の1カ月前までに、同条第2号及び第3号の場合はすみやかにこれを行わなければならない。

第5条 教授会は、付属学校長候補者を選考するため、選考委員会を設ける。

第6条 選考委員会は次の委員を以つて構成する。

- 1. 委員長……学部長
- 2. 委員……4名(教授の互選による)

第7条 選考委員会は、付属学校長候補適任者3名以上を推せんする。

第8条 教授会は、前条により推せんされた付属学校長候補適任者3名以上につき、次の方法により選挙を行い候補者を決定する。

- 1. 無記名式単記投票
- 2. 投票総数が選挙権者3分の2に達しないときは再投票を行う。
- 3. 不在投票を認めない。
- 4. 得票数の多いものを候補者とする。

第9条 付属学校長候補者が止むを得ない事由により辞退したときは再選考を行う。

第10条 教授会は、付属学校長候補者が決定したとき、これを学長に報告する。

第11条 付属学校長の任期は2か年とする。

但し重任を妨げない。

第12条 教授会は、選考事務が終了したと認めるとき選考委員会を解散する。

第13条 この基準の改正は、教授会において行う。

付 則

- 1. 選考委員会は、当該付属学校教官会議の意向を斟酌して選考にあたるものとする。
- 2. この基準は昭和30年9月8日から施行する。

薬学部規程中一部改正

(昭和30年10月21日評議会承認)

薬学部規程の一部を次のように改正する。

第8条の但書を次のように改める。

但し自然科学系列の必修科目については各4単位(物理化学、生物学は実験各1単位を含む)を欠くことができない。

第13条中「88」単位を「87」単位に改める。

付則を次のように改める。

本規程は昭和30年10月21日から実施する。

但し昭和28年度以前の入学生の一般教育課程の履修単位数については従前の規程による。

別表(1)を次のように改める。

(1) 一般教育課程の人文科学系列、社会科学系列、自然科学系列、外国語系列の選択科目名を削り、自然科学系列の備考欄の「(各4単位以上)」を「各4単位以上(物理化学、生物学は実験各1単位を含む)」に改める。

(2) 専門課程の薬化学講座の学科目中「理論化学」を「物理化学」に、製薬学講座の実習の単位数「3単位」を「2単位」に、小計実習「28」単位を「27」単位に、合計「144」単位を「143」単位に夫々改める。

人 事

官	職	氏 名	異 動 内 容	発 令 年 月 日
文 部 教 官 (新潟大学教授 理学部)		田 代 芳 郎	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	昭和30. 6. 15

	矢野武夫	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和30年9月30日までとする	昭和30. 6.15
	竹林信一	文部教官(富山大学助手経済学部)に採用する	昭和30. 7. 1
	籠瀬良明	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和30年7月15日までとする	昭和30. 7.11
文部教官 (富山大学助教授 工学部)	酒井信之	富山大学付属図書館工学部分館長の併任は 終了した	昭和30. 7.13
"	"	富山大学付属図書館工学部分館長に併任する 任期は昭和32年7月12日までとする	"
雇(富山大学文理学部)	伊東与三次	富山大学会計課に配置換する	昭和30. 7.18
雇(富山大学会計課)	森田隆夫	富山大学経済学部配置換する	"
"	森慶二	富山大学文理学部に配置換する	"
文部教官 (富山大学教授 経済学部)	渡植彦太郎	富山大学評議員の併任は終了した	昭和30. 8. 1
"	城宝正治	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年7月31日までとする	"
"	武石勉	富山大学評議員の併任は終了した	"
"	"	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年7月31日までとする	"
雇(富山大学厚生課)	島正	富山大学庶務課に配置換する	"
雇(富山大学施設課)	高松正雄	富山大学会計課に配置換する	"
臨時筆生(富山大学施設課)	安間基	雇(富山大学施設課)に配置換する	"
臨時筆生(富山大学付属図書館)	中林邦夫	雇(富山大学経済学部)に配置換する	"
臨時筆生(富山大学会計課)	山岸長幸	雇(富山大学会計課)に配置換する	"
文部教官 (富山大学教授 教育学部)	白川今朝晴	富山大学補導協議会委員を命ずる 任期は昭和32年7月31日までとする	昭和30. 8. 1
"	佐々亮	"	"
文部教官 (富山大学教授 経済学部)	城宝正治	"	"
"	石瀬秀治	"	"
文部教官 (富山大学教授 薬学部)	中沖太七郎	"	"
"	志甫伝逸	"	"
文部教官 (富山大学教授 工学部)	南日突	"	"
"	井上浩	"	"
文部教官 (富山大学教授 文理学部)	大島文夫	富山大学一般教育委員会委員を命ずる 任期は昭和32年7月31日までとする	"
"	吉川美夫	"	"
"	結城謙治	"	"
"	植木忠夫	"	"
文部教官 (富山大学教授 教育学部)	白川今朝晴	"	"
"	佐々木龍作	"	"
文部教官 (富山大学教授 薬学部)	三橋監物	"	"
文部教官 (富山大学教授 工学部)	浅岡忠知	"	"
文部教官 (富山大学教授 経済学部)	渡植彦太郎	"	昭和30. 4.16
"	武石勉	"	"
雇 (富山大学薬学部実験実習指導員)	深井三郎	国家公務員法第79条第1号により休職にする 休職の期間は昭和31年8月6日までとする	昭和30. 8. 7

官 職	氏 名	異 動 内 容	発 令 年 月 日
文 部 教 官 (富山大学教授 薬学部)	横 田 嘉 右 衛 門	富山大学薬学部長に併任する 任期は昭和32年8月23日までとする	昭和30. 8. 24
文 部 教 官 (富山大学薬学部長)	”	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年8月23日までとする	”
文 部 教 官 (富山大学教授 文理学部)	柴 田 万 年	富山大学評議員の併任を解除する	昭和30. 9. 1
”	”	富山大学文理学部長に併任する 任期は昭和32年8月31日までとする	”
文 部 教 官 (富山大学文理学部長)	”	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年8月31日までとする	”
文 部 教 官 (富山大学教授 文理学部)	福 井 憲 二	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年5月31日までとする	”
”	小 柳 津 三 郎	講師(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	”
運 輸 技 官 (気象研究所応用気象研究室)	増 山 元 三 郎	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	”
作 業 員(富山大学庶務課)	磯 部 た つ	傭人(富山大学庶務課)に配置換する 作業員を命ずる	”
作 業 員(富山大学薬学部)	青 山 た き	傭人(富山大学薬学部)に配置換する 作業員を命ずる	”
”	中 田 昭 暉	作業員(富山大学経済学部)に採用する 任期は昭和30年10月31日までとする	”
文 部 教 官 (神戸大学教授 経営学部)	久 保 田 音 二 郎	講師(富山大学経済学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	”
傭 人(富山大学薬学部作業員)	青 山 た き	国家公務員法79条1号により休職にする 休職の期間は昭和31年9月13日までとする	昭和30. 9. 14
文 部 教 官 (富山大学教授 経済学部)	渡 植 彦 太 郎	富山大学学生部長の併任を解除する	昭和30. 9. 15
文 部 教 官 (富山大学教授 文理学部)	岡 本 基	富山大学学生部長に併任する 任期は昭和32年9月14日までとする	”
文 部 教 官 (富山大学教授 工学部)	森 棟 隆 弘	富山大学付属図書館長に併任する 任期は昭和32年9月15日までとする	昭和30. 9. 16
”	佐 々 久 高	雇(富山大学薬学部実験実習指導員)に採用する	昭和30. 9. 16
文 部 教 官 (大阪大学教授 工学部)	美 馬 源 次 郎	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和30年9月30日までとする	昭和30. 9. 20
”	小 林 晴 次 郎	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和30年10月5日までとする	昭和30. 9. 25
臨 時 筆 生(富山大学教育学部)	松 下 イ ト	作業員(富山大学教育学部)に配置換する 任期は昭和30年11月28日までとする	昭和30. 9. 29
傭 人(富山大学教育学部作業員)	高 安 梅 太 郎	国家公務員法79条1号により休職にする 休職の期間は昭和31年9月30日までとする	昭和30. 10. 1
作 業 員(富山大学教育学部)	増 山 繁 次 郎	傭人(教育学部)に配置換する 作業員を命ずる	”
”	山 田 広	作業員(富山大学薬学部)に採用する 任期は昭和30年11月30日までとする	”
”	高 見 麗 子	臨時筆生(経済学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	”
”	田 尻 淑 子	”	”
”	石 黒 壽 子	臨時筆生(薬学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	”
”	牧 野 公 子	臨時筆生(附属図書館薬学部分館)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	”
”	高 畑 謙 治	臨時筆生(工学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	”
”	多 々 静 夫	雇(富山大学工学部実験実習指導員)に採用する	”
文 部 教 官 (東京工業大学助手)	三 上 房 男	富山大学助教授(工学部)に昇任させる	”
文 部 教 官 (京都大学教授 理学部)	友 近 晋	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和30年10月31日までとする	”
文 部 教 官 (山形大学教授 文理学部)	花 岡 謹 一 郎	”	”
文 部 教 官 (京都大学助教授 教養部)	塩 谷 饒	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和30年10月20日までとする	”
運 輸 技 官 (伏木測候所長)	田 口 龍 雄	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和30年12月30日までとする	”
文 部 教 官 (静岡大学助教授 教育学部)	永 森 正 治	講師(富山大学経済学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	”

文 部 教 官 (福井大学講師 学芸学部)	吉 田 勇	講師(富山大学経済学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	昭和30.10.1
雇 (富山大学工学部)	慶 寺 長 伍	辞職を承認する	〃
	森 川 宗 一	講師(富山大学工学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
	長 尾 義 三	講師(富山大学経済学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
	山 本 侑 子	臨時筆生(文理学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
	大 野 ひ ろ 子	〃	〃
	藏 北 博	〃	〃
	草 島 幸 雄	臨時筆生(教育学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	〃
	松 岡 洋 子	〃	〃
	野 沢 行 夫	臨時筆生(教育学部通信教育部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学教授 教育学部)	曾 根 末 次 郎	富山大学評議員に併任する 任期は昭和32年5月31日までとする	昭和30.10.4
	池 辺 展 生	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和30年12月30日までとする	昭和30.10.10
	寛 三 郎	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
(防衛大学教官)	金 塚 文 哉	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和30年10月21日までとする	昭和30.10.12
文 部 教 官 (金沢大学教授 工学部)	広 津 万 里	講師(富山大学工学部)に併任する 任期は昭和30年12月25日までとする	昭和30.10.15
文 部 教 官 (新潟大学教授 理学部)	田 代 芳 郎	〃	〃
文 部 教 官 (神戸大学教授 文学部)	谷 信 一	講師(富山大学文理学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
文 部 教 官 (富山大学助教授 文理学部)	中 川 正 之	富山大学助教授(工学部)に併任する 任期は昭和31年3月31日までとする	昭和30.10.16
	飯 山 敏 春	文部教官(富山大学教授教育学部)に採用する	〃
	菅 野 貞 雄	文部教官(富山大学講師教育学部)に採用する	〃
	鳥 山 喜 一	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和30年11月30日までとする	昭和30.10.20
雇 (富山大学薬学部実験実習指導員)	深 井 三 郎	辞職を承認する	昭和30.10.31
雇 (富山大学補導課)	山 田 享 子	〃	〃
文 部 事 務 官 (富山大学庶務課庶務係長)	泉 田 利 享	富山大学庶務課長補佐に昇任させる	昭和30.11.1
文 部 事 務 官 (富山大学庶務課長補佐)	〃	富山大学庶務課庶務係長に併任する	〃
文 部 事 務 官 (富山大学会計課総務係長)	有 岡 進	富山大学会計課長補佐に昇任させる	〃
文 部 事 務 官 (富山大学会計課長補佐)	〃	富山大学会計課総務係長に併任する	〃
	島 田 政 信	臨時筆生(富山大学教育学部)に採用する 任期は昭和31年3月30日までとする	〃
	深 川 修 吉	講師(富山大学文理学部)に採用する 任期は昭和31年3月31日までとする	〃
	佐 藤 好 孝	文部教官(富山大学講師教育学部)に採用する	〃

学 内 通 知

卒業、修了等について

昭和30年9月30日付をもつて次のとおり卒業、修了を認定し、卒業証書・修了証書を授与した。
(但しうち1名は昭和30年10月5日付とし、次の表のうち

※印をもつて外数で示す)

1. 卒業

学 部	学 科	人 員
文 理 学 部	文 学 科	2
小 計		2
教 育 学 部	第一中等教育科	3
	第一初等教育科	4
		※ 1

小 計	8
工 学 部	電 気 工 学 科 1
	工 業 化 学 科 1
	金 属 工 学 科 1

小 計	3
合 計	13

2. 修了

学 部	学 科	人 員
教 育 学 部	第 二 中 等 教 育 科	4
	第 二 初 等 教 育 科	4
合 計		8
総 計		21

轉学部、轉学科等について

昭和30年10月16日付をもつて、4年課程にあつては2年次、2年課程にあつては1年次の学生のうち、次のとおり轉学部、轉学科、専攻異動を許可した。

1. 轉学部

転入学部学科	在籍学部学科	人 員
薬学部薬学科	文理学部理学科(乙)	1
合 計		1

2. 轉学科

転入学科	在籍学科	人 員
------	------	-----

A 教育学部

第一中等教育科	第一初等教育科	5
第二中等教育科	第二初等教育科	2
第二初等教育科	第二中等教育科	1
小 計		8

B 工学部

電気工学科	工業化学科	1
小 計		1
合 計		9

3. 専攻異動

教育学部第一中等教育科		
転入専攻	在籍専攻	人 員
家 政	職 業	1
合 計		1
総 計		11

昭和31年度学生募集要項

昭和31年度の学生募集要項が決定発表された。その概要は次のとおりである。

1. 募集人員

◇ 文 理 学 部	
文 学 科	50名 昨年度より10名増

(専攻種別 哲学, 史学, 国文学及び中国文学, 英文学, ドイツ文学)

理 学 科.....50名 昨年度より10名減

(専攻種別 数学, 物理学, 化学, 生物学)

◇ 教 育 学 部

第一中等教育科(4年制) 75名 昨年度より10名増

専 攻 別 社会, 理科, 国語, 英語, 数学, 音楽, 図画・工作, 保健体育, 家政, 職業 各若干名

第二中等教育科(2年制) ... 20名減 本年度は募集を止めとした

第一初等教育科(4年制)約 70名

第二初等教育科(2年制)約100名

◇ 経 済 学 部

経 済 学 科 160名

◇ 薬 学 部

薬 学 科 80名

◇ 工 学 部

電 気 工 学 科 30名

工 業 化 学 科 30名

金 属 工 学 科 30名

機 械 工 学 科 30名
昨年度は金属工学科(機械工学専攻)として募集した

2. 出願期限

昭和31年2月17日(金)から3月3日(土)まで

3. 学力検査科目

国語, 社会, 数学, 理科, 外国語のうち, 社会と理科は志望学部・学科の文科系又は理科系の別によりその一を選ぶこととし, 4教科4科目を受験する。詳細は本春発表済みである。

4. 検査日割及び時間表

月 日(曜)	時 間	検 査 科 の 別
3月23日(金)	午前8.30~9.00 (30分間)	点 呼 (学力検査場において)
	" 9.00~10.30 (90分間)	数 学
	" 11.00~午後0.30 (90分間)	国 語
3月24日(土)	午後1.00~	身 体 検 査 (レントゲン検査)
	午前9.00~10.30 (90分間)	社 会 (文科系) 理 科 (理科系)
	" 11.00~午後0.30 (90分間)	外 国 語
3月25日(日)	午前9.00~	身 体 検 査 (一般検診)

5. 検査場

学 部	検 査 場
文 理 学 部	文 理 学 部
教 育 学 部	教 育 学 部

経 済 学 部	岩瀬中学校(富山市達町)
薬 学 部	奥田中学校(富山市窪町)…(学力検査) 薬 学 部 ……………(身体検査)
工 学 部	工 学 部

昭和30年度卒業式 終了式 日程
昭和31年度 入 学 式

次のように行事日程が決定された。

昭和30年度卒業式, 修了式 昭和31年3月20日(火)
昭和31年度入学式 昭和31年4月10日(火)

- 6. 第二志望
教育学部又は工学部の志願者は、各学部内において第二志望ができる。
- 7. 合格発表
昭和31年3月31日(土)

昭和31年度文部省科学研究費等公募について

研究費の種類	受付期間	申請用紙種別	提出部数
科学研究費 交 付 金	2月6日(月)~ 2月10日(金)	総合研究申請書 甲 } " 乙 } " 丙 } 1組(代表者記入) " 丁 } カ - ド	1
		機関研究	申請課題一覧(研究機関長記入) 1 機関研究申請書(研究者記入) 3
		各個研究	申請課題一覧(研究機関長記入) 2 各個研究申請書(研究者記入) 1
化学研究促進補助金	2月6日(月)~ 2月10日(金)	申請課題一覧(研究機関長記入) 1 申 請 書(研究者記入) 2	
科学試験研究費補助金	2月6日(月)~ 2月10日(金)	申 請 書 甲 } " 乙 } 1組(代表者記入) カ - ド }	1
科学研究助成 補 助 金	2月13日(月)~ 2月18日(土)	推薦順位一覧(研究機関長記入) 1 申請課題一覧(研究機関長記入) 1 助成研究申請書(研究書記入) 1	
		奨励研究	奨励研究申請書 甲 } " 乙 } 1組(研究者記入) カ - ド }
輸入機械購入費補助金	2月20日(月)~ 2月29日(水)	申 請 一 覧(研究機関長記入) 2 申 請 書(研究機関長記入) 1 購入計画概要書(研究者記入) 3	

研究成果刊行 費補助金	学術定期 刊行物	2月1日(水)~ 2月10日(金)	申請用紙(甲)	1
	学術図書	2月1日(水)~ 2月10日(金)	申請用紙(乙)	1

部 局 情 報

奨学生関係事務の懇談について

さきに日本育英会より、下記のとおり本年度事業として近藤理事・森送金課長、平野補導係長3氏の来学あり、本会事務関係の各学部教職員懇談会並に奨学生代表の座談会

等につき予定計画どおり開催せられ、夫々有意義に終了した。

記

- 10月24日(月) 大学本部において
午後1時より 奨学事務懇談会
午後3時より 奨学生代表座談会
- 10月27日(木) 工学部において
午前9時30分より 奨学生代表座談会

昭和31年3月卒業予定学生就職状況 (11月15日現在)

学 部	学 科	卒業予定者	上級進学 家事従事者	就職希望者	就職決定者	就 職 率
文 理 学 部	文 学 科	39	4	35		
	理 学 科	9	1	8		
	計	48	5	43	—	—
教 育 学 部	第一中等教育科	45		45		
	第一初等教育科	36		36		
	第二中等教育科	26		26		
	第二初等教育科	97		97		
	計	204	—	204	—	—
経 済 学 部	経 済 学 科	112	3	109	26	23.8
薬 学 部	薬 学 科	78	10	68	26	38.2
工 学 部	電 気 工 学 科	31		31	14	45.2
	工 業 化 学 科	28	3	25	2	8.0
	金属工学科(金) (機)	25 12	2 —	23 12	6 4	26.1 33.3
	計	96	5	91	26	28.6
合 計		538	23	515	78	15.1

工学部長再選さる

11月9日工学部教授会において横山工学部長の12月14日任期満了に伴う次期学部長候補者の選挙が行われ、現横山学部長が再選された。

永年勤続職員に感謝状贈呈さる

第5回永年勤続職員感謝状贈呈式が本学と大学後援会の共

催で、11月24日午後2時から本部において高辻知事他来賓多数参列のもとに挙行され、永田佐一(付属図書館工学部分館事務主任)森田弘(庶務課人事係長)の両氏に対し、学長から感謝状並びに記念品が贈呈され、学長の式辞、知事の祝辞について被表彰者を代表して永田氏の謝辞があつて式を閉じた。

引続き学長室でお茶の会を催し、午後3時半散会した。これで永年勤続職員に対する感謝状の贈呈は昭和26年の第1回から今回までで50名となつた。

第5回北陸三県大学学生交歓芸術祭

富山大学主管で、11月20日から23日まで富山市公会堂を
主会場として開催。

◇芸術部門

- 文学 作品コンクール
- 演劇 富山市公会堂で (22, 23日)
- 洋楽 " (20日)
- 絵画 " (20~23日)
- 彫刻 " "
- 工芸 " "
- 書道 富山市商工奨励館で "
- 写真 " "
- 放送劇 11.19 11.26 12.3
(富大) (金大) (福大)

NHKより

◇参加大学

金沢大学、福井大学、富山大学、金沢美工大学
金沢女子短大、北陸学院保育短大

◇賛助 新潟大学、信州大学、柏崎短大

第2回中部学生 第3回中部大学 バドミントン選手権大会

中部学生バドミントン連盟主催、富山大学バドミントン
部主管をもつて、開催された。

1. 期 日 11月5日(土) 午後1時より
6日(日) 午前9時より
2. 会 場 富山工業高等学校——第一会場
富山市愛宕小学校——第二会場
" 奥田小学校——第三会場
3. 参加人員 男 90 女 40
4. 参加大学 男 16大学 女 13大学
5. 成 績 (1位) (2位)
団 体 戦 (男) 信州大学 富山大学
(女) 長野短大 富山大学
個 人 戦 (男) 奥田晃三(富大)
シングルス (女) 森川玲子(信大)
ダブルス (男) 赤羽、倉科(信大)
(女) 山田、清田(金城大)

第4回学部對抗学生競技大会

10月29, 30両日にわたり、教育学部を主会場として開催
した。あいにく雨天つづきのため、予定した種目のうち、
野球、庭球、ソフトボールは中止のやむなきに至つたが、
次の各種目において熱戦を展開し、優勝旗は経済学部の獲
得する処となつた。

種 目	優勝学部
陸上競技	教育学部

排 球	経済学部(女) 教育学部(1.3年組)
籠 球	薬学部(女) 教育学部(2.4年組)
卓 球	経済学部(女) 文理学部(女)
羽 球	教育学部(女) " (1.3年組)
柔 道	経済学部
剣 道	経済学部
空 手	(演武会)

雑 報

南加大学の思出

——かくれた日本文学研究者——

今年の3月のある午後、学校の図書館で何か読んでいた
ら「お忙しそうですね」と言葉をかける者がある。ひよい
と頭をあげると23.4才の白人の学生。「何を調べているの
ですか」から始まつて「およろしかつたら私の下宿へお出
になりませんか」と云う。一世の人達の地方なまりのある
英語とチャンボンの日本語を聞いたり、二世の人達の妙な
クセのある日本語を聞いていた耳に、このアメリカ人の日
本語は、すつきりとあかぬけがしていて、快いものだつた。

(実はこんどアメリカに行つて、始めてきれいな日本語
は、たまたなくいいものだと感じた。時々見た日本映画で
特に女優の口から美しい日本語が聞えたが、日本映画を見
る楽しみの一つはこの点だつた。わずか1年たらずしか日
本を離れないでこんなだから、もつと長く離れている人達
の日本語に対する郷愁は想像される)

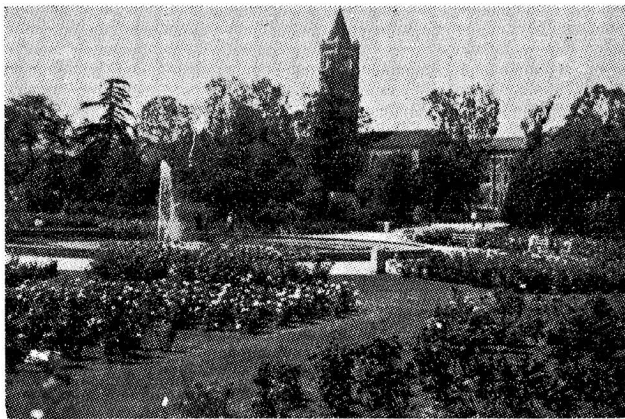
彼の車で下宿に行く途中「私は二世の家の地下室を借り
ています。上には二世の家族、その上には日本からの留学
生が住んでいます」と話してくれた。なるほど部屋へ行く
には石段をおりなければならなかつた。

部屋に入ると、居間兼寝室になつている20畳位の室の二
方に7段か8段にぎつしりと日本の書物が並んでいたのに
は一寸驚いた。万葉集から源氏物語、平家物語、明治大正
文学全集、夏目漱石全集、高山樗牛全集、徳富蘆花全集、
厨川白村全集等と並び、岩波文庫、岩波新書の顔もみえる
新刊の文芸批評書も何冊か並んでいる。一方「新潮」「中
央公論」などがうづ高く積んである。

「私は石川啄木が好きです。あの庶民性がいい」という。
「徳富蘆花は好きですが、あなたはどうですか」と聞く。
序に「徳富蘇峯の書いたものも一時は日本で可なり読まれ
たようです」と云つたら「私はどうも蘇峯が好きになれま
せん。特に彼がこんどの戦争前及び戦争中に書いたものを
読むと好感が持てません」と云う。

「どうして日本語を勉強したのですか」と聞くと「日本

語が難しいということを知ったので、そんな難しいものならやってみようとして10年余り前から日本語の勉強を始めました。殆んど独学です。短波で日本語の放送をとらえてテープレコーダ--にとって勉強したり、日本語の歌のレコードを買ったりしました。「『お富さん』は好きですか」と聞くと「日本では大流行だそうですねからかけてみましょう」とレコードをかけて聞かせてくれた。「1週間に1回、日本人町の御師匠さんの所へ「ピワ」を習いに行きますが、始めてからもう相当になります」と云つたが、なるほど、部屋の奥に「ピワ」がきれいな袋をかぶせて立てかけられていた「日本へ一度行きたいと思つていましたが、近頃その熱もさめました。では残りもので夕飯を食べましょう。私は昼食に御馳走をたべる習慣で夕飯は簡単です」と云いながら、美しい「はし」を並べた食卓に案内する。「暫く前までは食物も全部日本式にしていたのですが、ごはんをたいたりするより、コチラ式にした方が簡単だから日本料理はやめました。でも「ノリ」なんかは今でも食べ、箸は便利ですからそのまま使っています」と云つたがテーブルのまんなかの箸立には、うるしをぬつたきれいな箸が何ぜんか立っていた。「自炊しています。だから1ヶ月に30ドルで充分食べられます。いつでも気がむいたら来て下さい。食べながら話しましょう。近頃日本人とあまり話さないので私の日本語も怪しくなりそうです」と云つた。



この青年、大学の図書館でアルバイトしながら将来図書館司になる心算で勉強しているのだそうだ。「新古今集の英訳を始めましたが図書館の勉強がいそがしく近頃一寸中止しています」とも語つた。

これは偶然言葉をかけられた、いはどかくれた日本文学研究者だが、この大学にこんな種類の学徒がまだ1名か2名いるのかも知れない。そしてアメリカ全体の大学をあわせると、こんな学徒も一寸した数になるのかも知れないと思つた。
(文理学部 須沼)

主 要 日 誌

- 8. 1 学生相談所開設
- 8. 4 第8回中部日本学生卓球選手権大会開催(主管富山大学卓球部、於大沢野中学校体育館)
- 5
- 8.25 文部省共済組合東海北陸地区大会(於岐阜大学)に本学教職員61名参加、ソフトボール競技に優勝
- 26
- 8.27 第7回補導協議会開催
- 8.28 石井教授公務死亡
- 9. 2 8日まで教育学部、工学部の物品検閲実施
- 9. 3 第7回評議会開催
- 9. 8 職業補導担当者会開催
- 9. 9 第8回評議会開催
- 〃 協議会開催
次期付属図書館長及び学生部長の選考が行なわれた
- 9.12 中部日本初等中等教育研究集会開催(文部省本学及び県教委共催、於富山)
- 9.16 事務協議会開催
- 9.18 故石井教授の教育学部葬執行
- 9.19 参議院文教委員会雨森理事、加賀山委員他3名大学教育視察のため来学
- 9.20 27日まで文理、経済、薬学部及び付属図書館の会計事務監査実施
- 9.28 事務協議会開催
- 9.29 第8回補導協議会開催
- 9.30 第9回評議会開催
- 10. 8 文化部会開催
- 10.17 大阪市黒田善太郎氏より大英百科辞典(1911年製29巻)寄贈
- 10.18 職業補導担当者会開催
- 10.21 第10回評議会開催
- 10.22 体育部会開催
- 10.24 日本育英会近藤理事他2名来学のもとに奨学事務懇談会開催、引続き奨学生代表との座談会を本部において当日、27日には工学部において開催
- 10.26 全国職業教育研究集会開催
27 (於教育学部)
- 10.27 全国文理学部長連絡協議会開催
28 (於文理学部)
- 10.29 第4回学部対抗学生競技大会開催
30
- 11. 4 昭和30年度学生就職雇用主懇談会開催(県庁会議室)
- 11. 5 事務協議会開催
- 11. 5 第2回中部学生、第3回中部大学バドミントン選手権大会開催
6
- 11. 7 10日まで文部大臣の委嘱による昭和30年度富山大学単位修得試験実施
- 11. 9 次期工学部長候補者選挙執行
- 11.11 第11回評議会開催
- 11.12 第9回補導協議会開催
- 11.14 第4回東海北陸地区施設担当課長会議開催
15
- 11.20 23日まで第5回北陸三県大学学生交歓芸術祭開催
- 11.24 永年勤続職員感謝状贈呈式挙行